

目標達成計画

作成日: 令和 4年 6月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 日常的に玄関内扉の施錠が行われている。入居者本人の心情、安全を考慮しつつ、施錠の必要性について検討を深め、施錠に頼らないケアの実践が必要。	施錠の必要性について再検討を行い、施錠に頼らないケアを実践する。	人員に余裕がある日、時間に施錠を外す時間を設け、最初は短い時間からはじめ、少しずつ施錠を外す時間を増やし、最終的に施錠に頼らないケアを目指す。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 地元役員、行政職員を招いての開催は行えているが、家族の参加が見られない。家族の意向の取り入れのため、参加しやすい時間や、日時設定、アンケートの送付など、開催内容の検討が必要。	運営推進会議へ、地元役員、行政だけでなく家族の意向が反映しやすいシステムを構築する。	開催の日時に合わせ、ご家族様の都合や遠方に住まれている等、運営推進会議へ参加が難しい状況があるため、その中でもご家族様の意見を反映ができるよう年に数回事前にご家族様へ返信用の意見用紙を送付し、会議の場で検討できるシステムを構築する。	12ヶ月
3	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 入居者ごとに担当職員を配置し、日頃の関わりの中で、家族の意向の把握に努めているが、コロナ禍の影響もあり、家族の訪問や関わりが少なく、意見の反映が十分ではない。家族の意見を運営に反映できるシステムの検討が必要。	コロナ禍でもご家族と関われるシステムの構築を行い、ご家族が意見を発信しやすい環境を整える。	オンライン面会の積極導入、通信環境の改善を行い、遠方の方でも自由に対面でのお話ができる場を設け、また推奨することでご家族の意見が発信しやすい環境を構築する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。